

● 文部科学大臣表彰



岡山県スポーツ推進委員協議会副会長

■ 武南 俊明さん (本町)

昭和59年に市体育指導委員(現・スポーツ推進委員)に就任して以来、長きにわたり地域の社会体育やスポーツの発展・振興に努められてきました。現在も二ユーススポーツをはじめ、子どもたちへの生涯スポーツの普及など幅広く貢献されています。

● 法務大臣感謝状



川上地区更生保護女性会会長

■ 穴田 英子さん (成羽町成羽)

昭和52年に入会して以来、長きにわたり地域の犯罪・非行防止のために積極的に活動されています。誠実な人柄から人望も厚く、平成7年からは地区会長として、会員の育成や地区会の発展にも尽力されています。

● 第43回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会 (平成24年12月23日～29日・広島県)



高見 祐也さん(浜町) 玉野光南高校3年

「全国大会に2年連続出場し、大変貴重な経験ができました。今まで支えてくださった先生や先輩をはじめ、皆さんに感謝しています。大学進学後もスポーツを通じて多くのことを学び、感謝の心を忘れず頑張ります。」

市内に在住、または市内で活動し、文化やスポーツ活動の全国大会出場、それに準ずる成績を取めた人・団体の情報があればお知らせください。
■問い合わせ 秘書課公聴広報係 (☎0210)

～「教育」について話し合いました～
市政アドバイザーとの懇談会

2月1日に東京都内で開催した懇談会には、10人の市政アドバイザーが出席。市長が市の近況を報告し、教育について意見交換を行いました。

■問い合わせ 秘書課公聴広報係 ☎0210

主な意見を紹介します

● アドバイザー

▽ 岡山県の教育レベルが下がっていると感じます。

▽ 学校によって差はありますが、学力テストの結果からも、学力が落ちてきています。

▽ 子どもを持つ力を引き出すため、市独自で教員の増員をしようと考えています。

● 不登校の児童数が全国一位とも聞いています。

▽ 県としてはそうですが、高梁小学校は0人というところで、テレビにも取り上げられています。

以前は、市内の小中学校から中学、高校へと進学していましたが、最近では、市外の私立中学校や高校に進学する傾向が出てきました。市内で勉強ができる環境づくりが必要と考えています。

● 子どもの個性を引き出すことが大切です。

高松市では、子どもの発想力を高めることを目的に、芸術家の派遣事業を行って、成果を上げています。

▽ 都会と同じことはできませんが、本市独自でいろいろな体験ができるように

3団体が表彰されました

平成24年度高梁ふるさとづくり功労賞

地域の個性や特性を生かし、魅力のあるふるさとづくりに意欲的に取り組んでいる団体等に贈られる高梁ふるさとづくり功労賞。今年度は3団体が選ばれ、2月7日に総合文化会館で表彰式が行われました。

迫町内会 (成羽町中野)

平成17年から、市重要文化財の広兼邸周辺の掃除や草取り、花植えなどの景観保全に取り組んでいます。また、豪壮な石垣の全景が見渡せるように、周辺の土地を購入し、障害となっていた杉や竹を伐採するなど、他の模範となる活動を行っています。

FC高梁吉備国際大学Charm

地域密着を大切にしたという思いから、サッカースクールの開催や、松山踊りなど各種イベントへの参加など、さまざまな地域ボランティア活動を積極的にを行い、市民に愛される存在となっています。

備中たかはし町家通りの雛まつり実行委員会

本町の町家に多くのひな人形を飾りつける「町家通りの雛まつり」を平成19年から毎年開催していて、県内外の観光客から大変好評を得ています。また、高梁地域まちづくり推進委員会など、各種団体と協力して開催することで、祭りを盛り上げています。



市政アドバイザー (敬称略、50音順)

- 赤木 攻 (大阪外国語大学名誉教授)
- 赤木 恭平 (公益財団法人全日本ボウリング協会名誉会長)
- 伊藤謙介 (京セラ株式会社相談役)
- 大橋洋治 (全日本空輸株式会社取締役会長)
- 奥 二郎 (元・多摩美術大学教授)
- 小野元之 (城西大学理事・大学院センター所長、元・文部科学事務次官)
- 小池明夫 (北海道旅客鉄道株式会社代表取締役社長)
- 島谷弘幸 (東京国立博物館副館長)
- 立木正夫 (世界パレーボール連盟理事、元・サントリ株式会社専務取締役)
- 野本真也 (元・学校法人同志社理事長)
- 橋本 徹 (株式会社日本政策投資銀行代表取締役社長)
- 平松利昭 (洋画家)
- 平松政次 (野球解説者)
- 深井晃子 (京都服飾文化研究財団理事、服飾研究者)
- 山田安之 (学校法人二松学舎名誉舎友)

情報ボックス

市政アドバイザーとは?

本市にゆかりがあり、各界で活躍している人をお願いして、アドバイス(助言・提言)してもらい、まちづくりに生かしています。

～山田方谷NHK大河ドラマ放映実現を要望～
NHK放送センター(東京都)を来訪



NHKの新山理事に要望書と署名を手渡す橋本社長(右)

懇談会終了後、NHK放送センターを訪れ、新山賢治理事に、山田方谷のNHK大河ドラマ化実現に向けた要望書を提出しました。

また、これまでに県内外から20万人以上の署名が集まっていることをPRし、ドラマ制作を強く要望しました。

NHKへの要望活動は、今回で3回目となります。